

ドライブコース 約3時間の道程
 (一般道での目安)

- ① 枕石寺旧跡（第51号）
- ② 愛宕山古墳・麓「曝井」（第53号）
- ③ 茨城県立歴史館（第57号）
- ④ 美都里橋のたもと（第56号）
- ⑤ 桜川沿い5番目の橋「石垣橋」（第59号）
- ⑥ 潟沼（第58号）
- ⑦ 常陸風土記の丘（第60号）
- ⑧ 新治郡衙の石碑（第61号）
- ⑨ 雨引観音 楽法寺（第55号）

♦ 豊川稻荷（第54号）
 愛知県豊川市豊川町1番地
 ♦ 龍潭寺（第54号）
 静岡県浜松市北区佐町井伊谷1989



ヨシナシゴト特集号

二 枕石寺旧跡

カーレポート 51号掲載
2017年8月1日発行



枕石寺旧跡にある石像

MEMO

枕石寺旧跡

茨城県常陸太田市下大門町
下大門一時公民館近く

現枕石寺

茨城県常陸太田市上河合町
1102



水戸市愛宕町付近

*1 「歎異抄」……仏教書
*2 「歎異抄」……隠れ住むこと

MEMO

愛宕山古墳

茨城県水戸市愛宕町 2132 外

曝井

茨城県水戸市愛宕町 8-4



瑞龍遺跡発掘現場



発掘品(瑞龍遺跡事務所にて)

*1 プラタモリ……NHK総合-TVで断続的に放送されている日本の紀行・バラエティ番組

MEMO

茨城県立歴史館

茨城県水戸市緑町 2-1-15

先日、常陸太田市大門にある、親鸞聖人ゆかりの枕石寺旧跡を訪ねてみました。倉田百三作「出家とその弟子」の舞台として名高い処です。

昔、鎌倉時代に京都北面の武士であつた、日野左衛門尉なる武士が隠棲していました。

ある日、親鸞が日野 same 同族である左衛門尉を訪ねましたが、にべなく追い返されました。その夜、親鸞が面前の石を枕にして寝ていたところ、左衛門尉は悪い事をしたと気付き、親鸞の弟子となつて道圓坊と名乗り、ここに一寺を開いたとのことです。

諸説ある中には、京に上り親鸞の最期を看取ったのは、道圓坊の子・唯円坊(「歎異抄」の著作者と思われる)であるという説もあります。興味がある方は是非訪ねてみてください。現在の枕石寺は常陸太田市上河合に移転し、現存しています。

9月2日 孫の宿題にお付き合い。県都水戸の地理を考察してみた、プラタモリ的散歩です。

水戸の台地は那珂川と千波湖に挟まれた河岸段丘だと思います。古代から大河と共に発展してきた河岸段丘には、ところどころ水が湧き出ることがよく知られています。

発見がありました。台地の西部には前方後円墳があり、愛宕山古墳と言われています。その麓に泉が湧いており、曝井と言う古代の遺跡です。万葉集の中の歌

「三栗の那賀に向へる曝(ばく)井の

絶えず通はむそこに妻もが」

(*1 万葉集の卷九 高橋の虫麻呂作)

また、常陸風土記那賀郡の中に「坂の中に泉が湧き出でて、水量が多く清らかで、夏には女たちが布を洗い曝した」とあります。

現在、瑞龍跡は埋め立てられ、市道となっています。ここで発掘された品は、茨城県立歴史館の企画展「見てふれて楽しい考古学」(例年12月~1月開催)で見ることができます。

*2 常設展での展示はありません。

カーレポート 53号掲載
2017年10月1日発行

「曝井」

さらし

い

愛宕山古墳・麓

ふもと

カーレポート 53号掲載
2017年10月1日発行

私たちが住む茨城県は「魅力度ワースト1」。しかしながら縄文時代の遺跡が近年沢山発掘されており、当時より常世の国と云い、大変住み良い国であった様です。飛鳥時代・奈良時代・平安時代と「常陸の国」と称し、大勢の人々がやって来た事が明らかです。

最近、瑞龍跡発掘現場へ行つきました。久し振りでアツたこともあり面白さを感じたので、今月はそのことを紹介します。「常陸の国は蝦夷征伐」と言つて、朝廷軍が鹿島を経由して常陸北部に陣を張つたのではないか?発掘の現場を見学したところ、おびただしい土器の発掘品に文字が墨書きされています。日本独自の古代文字の1つを紹介しますね。(写真一番下)昔も男女間の交わりは永遠のテーマです。

「くなぐ」と読むそうです。

現在、瑞龍跡は埋め立てられ、市道となっています。ここで発掘された品は、茨城県立歴史館の企画展「見てふれて楽しい考古学」(例年12月~1月開催)で見ることができます。

カーレポート 57号掲載
2018年2月1日発行

三 茨城県立歴史館



発掘品(瑞龍遺跡事務所にて)

MEMO

茨城県立歴史館

茨城県水戸市緑町 2-1-15



那珂川の献上鮭

カーレポート56号掲載
2018年1月1日発行



MEMO

美都里橋

茨城県水戸市桜川1丁目6



水戸市に桜川があり、下流5キロで那珂川にれます。毎年鮭が産卵のため、弊社近くの橋のたもとで、流れに逆らう様に留まります。自然が戻りつつある様で素晴らしいと思っています。

時代を遡りますと、那珂川の鮭は毎年水戸藩から京都の朝廷に献上された事で有名です。弘道館の「学中諸儀」の一つに「賜鮭の儀」というのがあったそうです。もとより、各藩鮭の献上は多く日本人には無くてならない馴染みのお魚です。この献上は太平洋戦争前まで続けられた様です。



桜川沿い5番目の橋付近



桜川河口付近、那珂川への出口

*1 輪々道……サイクリングロードの意

水戸市の大河・那珂川に注ぐ桜川があり、左右の堤防の中岸には輪々道が出来ています。10本の橋があり、下をくぐりながら往路1、2、3、～10で那珂川との合流点に至ります。一息入れて復路1、2、3、～10と数えながら戻ります。10本の橋はそれぞれ異質かつ趣があつて、大好きな輪々道なのです。

さて、その10本の橋の中心はどの橋かと考え、5本目の橋を脳裏に刻みました。往路は良かった。復路も同じく数えながら走行。先程の5本目を目指してペダルを漕ぎながら走行。「あれ！違う橋だ！」復路では6番目の橋ではないか？つまり中心の橋はないという事がありました。

関係はありませんが、昔の怪談話「番町皿屋敷」も同様に錯覚話だったのかな。数えても数えても、9枚しか無かつた事が頭をよぎったのでした。1枚、2枚、3枚、おしまい！



桜川五番目の橋

カーレポート59号掲載
2018年4月1日発行

MEMO

石垣橋

茨城県水戸市東台1丁目1



シジミ漁をする舟

MEMO

涸沼

鉾田市、茨城町、大洗町にまたがる那珂川水系の汽水湖

いこいの村 潶沼

茨城県鉾田市箕輪 3604

涸沼という湖、当県に唯一残った汽水湖です。（海水が流入している湖です）2015年にラムサール条約に登録された貴重な自然遺産なのです。ラムサール条約では、地域の人々の生業や生活とバランスのとれた環境保全を進めるために、湿地の「賢明な利用（Wise Use）」（ワイスユース）を提倡しています。「賢明な利用」とは、湿地の生態系を維持しつつ、そこから得られる恵みを持続的に活用することです。

畔に「いこいの村涸沼」という施設があります。宿泊してみましたら、実に素晴らしいです。氷が張つている水中、若い漁師がシジミの採取をしていました。（写真右）

感動して、「これからは、無駄をせず大事に食する事が大事」と心から思いました。

大鷲も飛来していました。（写真左）



涸沼

カーレポート58号掲載
2018年3月1日発行

七 常陸風土記の丘

カーレポート60号 掲載
2018年5月1日発行



国府跡入り口



常陸風土記の丘

MEMO

常陸風土記の丘

茨城県石岡市染谷 1646



新治郡風土記の丘



新治郡衙の石碑

MEMO

新治郡衙の石碑

茨城県筑西市古郡 180 他

今を遡るに十数世紀、流星が現れて又消える様に郷土の歴史を考察する時があつても損はあるまい。

各地に風土記が編纂されたのは遡ること1300年、元明天皇が各地に命じた風土記編纂の詔勅による。現在、五箇所の風土記が残るうち、我らが「常陸國風土記」も厳然と残っている。編纂以前の数百年に渡り、地理、地形、住人、自然の動植物が記録されており、大変貴重である。この欄でこれから少しずつ紹介をしてみようと思う。

今月は、常陸国の始まりから。太古の昔、ヤマトタケルの尊が東国にやつてきた。足柄山を越へると、平で真っすぐに、ひたひたと歩を進める事が出来、「直道」から「常陸の国」

となった。
また、尊が井戸を掘らせ水をすくつたところ、袖が水に浸されたので、「ひたる」から「常陸の国」と名づけられています。

風土記の始まりは国衙であつた今の石岡に他ならない。常陸風土記の丘、国府跡を散策してみたのでした。

「筑波嶺に黒雲かかり、衣手ひたちの国」
に付いて、
昔、美麻貴の天皇（崇神天皇）の天の下知ろし食しし御世に、東國の荒ぶる賊たちを言向げようと、新治の國造の祖先となつた比奈良珠命を遣はした。比奈良珠命がこの地で新しい井戸を掘ると、清水が流れ出た。新しい井を治ごとから、新治の名がついだ。諺に「白遠新治の国」という。

この井戸は今も新治の里にあり、季節ごとに祭が行なわれる。

八 新治郡衙の石碑

カーレポート61号 掲載
2018年6月1日発行

この井戸は今も新治の里にあり、季節ごとに祭が行なわれる。
とに祭が行なわれる。
に付み、想いを馳せてみた。
今はもう畑が一面に広がり、ポツンとたどか、なかなか面白い事が書かれています。

郡家（郡厅）より東五十里のところには、等間の村がある。村へ通うには葦穂山を越えねばならない。葦穂山には昔、油置売命といふ山の主（山主）がいた。今は森の中の社の石屋に眠っている。この世界に浸つてみよう。

昔、美麻貴の天皇（崇神天皇）の天の下知ろし食しし御世に、東國の荒ぶる賊たちを言向げようと、新治の國造の祖先となつた比奈良珠命を遣はした。比奈良珠命がこの地で新しい井戸を掘ると、清水が流れ出た。新しい井を治ごとから、新治の名がついだ。諺に「白遠新治の国」という。

* 1 郡衙……その土地の役所
* 2 美麻貴の天皇……御事木入臼子印惠命
* 3 知るし食し……お納めになる
* 4 言向げる……説得して脅迫させる
* 5 白遠新治の国……雄大な新開墾せる地
* 6 郡家……下館の東にある協和町付近

九

雨引観音 樂法寺

らくほうじ

カーレポート 55号
掲載
2017年12月1日発行



MEMO

雨引観音 楽法寺
茨城県桜川市本木1



24代直政公木像

MEMO

龍潭寺
静岡県浜松市北区引佐町
井伊谷 1989
豊川稻荷
愛知県豊川市豊川町1番地



スマホの道案内で 移動がラクラク！



スマホで読み込んでみて♪

QRコードがうまく読み込めない時は下のURLを検索してみてください。

<http://www.carepo.jp/publics/index/236/>

ナビページ
表示方法



右のQRコードをスマートフォンの「QRコードリーダー」で読み取ります。すると、道案内のページが表示されます。表示された道案内を参考にレッツドライブ！

愛
知

靜
岡

豊川稻荷

りょうたんじ

カーレポート 54号
掲載
2017年11月1日発行



先日、当社の豊橋営業所へ行きました。「先ずは神様！」と、豊川稻荷を参拝。規模の大きい日本一のお稲荷様です。安全・安心を祈願。神様と一緒になるのは心が晴れますね。

翌日、東名浜松インターから途中寄り道をしてみました。N.H.K大河ドラマ「おんな城主直虎」で有名になった土地、正に井伊家発祥の地です。浜名湖に通じる気質を通して、井伊谷城跡、臨済宗龍潭寺を見学。今度は禅宗のお寺を参拝させて貰いました。戦国時代の小領主が壮絶に生き残る事の難しさをつくづく感じたのでした。現代にも参考になるのではないかと思ひながら帰路につきました。

11月初旬でしたが七五三参拝でたくさん的人が参詣していました。将来の夢を託した子供さんが大変可愛ないと感じました。

桜川市にて古代より信仰を集めたお寺を参拝させていただきました。

この雨引観音 楽法寺は用明天皇2年(587年)創建にして、本尊は延命觀音廿四首菩薩と申し、安産、子育、厄除の靈験あらたかなるお寺です。奈良時代の初期聖武天皇の妃光明皇后が安産祈願をした事で有名です。この高貴な御方は正倉院、薬師寺等関係が深く慈悲深い事で有名です。当時は疫病が多く大変な死者が出た為、信仰深くこの寺を護持されたと思われます。現在は真言宗ですが、私的に歩いてみると、長年神仏混淆であった痕跡が見られます。

カーレポでシェアリングデビュー♪
2019年11月1日よりスタート

売って

レポる?



借りて

レポリング?



レポリングすると
車買取
500円
UP

検索してみて♪

カーレポ 車 レポる

カーレポ 車 レポリング

カーレポ 水戸店

茨城県水戸市渋井町 588-9
TEL : 029-291-3336
FAX : 029-291-3338

カーレポ つくば店

茨城県つくば市榎戸 433-7
TEL : 029-875-8035
FAX : 029-875-8036

公式 SNS

情報配信中!
よろしければ
フォローを♪



公式ライン
@592vngcm



Twitter

@CaRepoPR



Facebook

@carepo.jp

この冊子のお問い合わせはこちらまで

✉ koho@carepo.jp

(担当: ブランドマネジメント室)

Car Responsibility for posterity
カーレボ株式会社

水戸市桜川一丁目8番29号
TEL : 029-300-2525
FAX : 029-300-2424
企業サイト <https://www.carepo.jp/>

カーレボ

